

大手前大学大学院 国際看護学研究科

[修士課程]

2024年度 学生募集要項



大手前大学

[大阪大手前キャンパス 教務課]

〒540-0008 大阪市中央区大手前2-1-88

TEL / 06-6941-7063

国際看護学研究科看護学専攻（修士課程）3つのポリシー

【ディプロマ・ポリシー（修了認定・学位授与の方針）】

国際看護学研究科看護学専攻では、以下の4つの基準に達している者に修士（看護学）の学位を授与する。

1. グローバル社会に暮らす個人・集団・地域がもつ文化的背景によって醸成された価値観や生活習慣、規範、宗教等の多様性を理解し、人権を尊重する国際性を涵養している。
2. グローバル社会に暮らす個人・集団・地域に内在する健康課題を洞察し、科学的分析力や論理的思考力によって、様々な健康課題の解決に向けた看護を探究する研究力を修得している。
3. グローバル社会に内在する健康課題に影響を与える行政システム、政治、経済、自然環境、民族固有の文化や価値観等を包括的に理解した上で健康課題の解決策を探究し、創造性のある看護実践力を修得している。
4. グローバル社会に暮らす個人・集団・地域がもつ多様性に対応でき、リーダーシップをもって多職種連携を図り、科学的エビデンスに基づく専門性のある看護実践や新たな健康支援システムの構築に取り組む能力を修得している。

【カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）】

国際看護学研究科看護学専攻では、ディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するため、共通科目、専門科目、特別研究科目を体系的に編成し、講義、演習、実習を適切に組み合わせた授業科目を開講する。また、コースツリーを用いて教育課程の体系性や構造を明示する。教育課程編成、教育内容、教育方法、学習成果の評価については、以下のように方針を定める。

1. 教育課程は、国際性と研究力を涵養する「共通科目」、個人・集団・地域の多様性に沿った専門性のある看護実践力を修得する「専門科目」、国際性と専門性をもって健康課題の解決に向けた看護を探究する「特別研究科目」の3区分の科目群で構成される。
2. 「共通科目」は、国内外のグローバル社会の健康課題を探究する国際性を涵養する「研究基盤科目」と、研究力の基礎を学修する「研究関連科目群」で構成される。
3. 「専門科目」は、『看護実践科学分野』、『公衆衛生看護実践科学分野』、『助産実践科学分野』の3分野で構成され、各領域における専門的研究力を基盤として看護職者（看護師、保健師、助産師）としての高度な看護実践力を修得する。
4. 「特別研究科目」は、「共通科目」と「専門科目」の履修を通して明確になった国際性と専門性のある研究課題を修士論文としてまとめる科目群である。修士論文は、指導教員以外に国際看護学研究科教員で組織される研究科委員会において評価する。
5. 教育方法は、大手前大学総合学修システム el-Campus や教育・学習支援システム UNIVERSAL PASSPORT EX などのICTを活用すると同時に、少人数グループによる指導教員との議論を多面的に行う。
6. 学習成果の評価基準は、シラバスに明示し、講義では、試験およびレポート課題を中心に評価を行い、演習では、事前自己学習、演習への参加態度、プレゼンテーションなどで評価を行う。

【アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）】

国際看護学研究科看護学専攻のアドミッション・ポリシーを以下のように定める。

1. 教育・研究目的
国際看護学研究科看護学専攻では、『看護実践科学分野』『公衆衛生看護実践科学分野』『助産実践科学分野』の3つの分野を基軸に、グローバル社会に暮らす個人・集団・地域がもつ文化の多様性を包括的にとらえ、事象の分析力や客観性を培い、科学的思考をもって課題解決に取り組み、文化に沿った看護を探究する看護職、および時代によって変容する社会に対応できる公衆衛生看護学や助産学の知識・技術を有した保健師および助産師を養成することを目的とする。
2. 人材養成の指針
国際看護学研究科看護学専攻では、グローバル社会に暮らす個人・集団・地域が有する多様な文化や特性を理解・尊重し、そこに暮らす人々が、QOL（クオリティオブライフ）を維持しながら豊かで安寧な生活が送れるように、看護の理論と実践に基づいた課題解決能力を培い、それぞれの文化に沿った看護を探究し、人々の健康と看護学の発展に寄与する人材を養成する。また、時代や環境の変化に沿って変容する人々の健康課題について、主体的に多職種と連携・協働しながら、看護の専門性と科学の理論的思考をもって課題解決に取り組み、国内外における看護実践や教育・研究活動を継続させながら自己研鑽ができる人材の養成を目指す。
3. アドミッション・ポリシー
国際看護学研究科看護学専攻では、上記の目的を達成するために、以下のような人物を求める。
(1) 看護師免許取得者（見込みを含む）で、看護師としての基本的な知識や技術を有し、研究科での学修や研究のために必要な基礎的英語能力を有する者。
(2) グローバル社会に暮らす個人・集団・地域がもつ文化の多様性に関心を持ち、研究的視点によって、それぞれの文化に寄り添う看護を探究することに高い関心と意欲のある者。
(3) 看護の対象に影響を与える文化や社会、政治、経済に関心を持ち、広く俯瞰的に物事を捉え、文化に沿った看護を探究する研究力を修得することに意欲のある者。
(4) 看護職としての経験を通して、グローバル社会に対応した専門性のある看護実践能力の修得に意欲のある者。
(5) 超少子高齢社会を内在したグローバル社会の様相とそこに暮らす多様な文化を有する人々への健康支援に強い関心を持ち、包摂社会の形成に向けて取り組む公衆衛生看護実践科学を学ぼうとする者。
(6) グローバル社会に暮らす多様な文化を有する女性や子どもの健康支援に加えて、国内外の母子保健の向上に強い関心を持ち、それぞれの文化に寄り添った助産実践科学を学ぼうとする者。

■修士課程

1 募集人員〔一般選抜／社会人選抜〕

募集人員	12名		看護実践科学分野	公衆衛生看護実践科学分野	助産実践科学分野
			4名	4名	4名
	内訳				
		一般選抜	2名	3名	3名
		社会人選抜	2名	1名	1名

志望する分野から選択して出願してください。

なお、看護実践科学分野と公衆衛生看護実践科学分野、看護実践科学分野と助産実践科学分野の併願を可能とします。

2 出願資格

次のいずれかに該当する者

一般選抜の出願資格

保健師助産師看護師法に規定する看護師の資格を取得（取得見込みを含む）し、大学院学則第19条に示す、以下の①～⑨のいずれかに該当する者とする。なお、『助産実践科学分野』は女子のみ出願を可能とする。

- ①大学を卒業した者
- ②学校教育法第104条第7項の規程により学士の学位を授与された者
- ③外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- ④外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- ⑤我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したものとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- ⑥専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- ⑦文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号－大学院及び大学の専攻科の入学に関し大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者の指定）
- ⑧学校教育法第102条第2項の規程により大学院に入学した者であって、当該者を本大学院において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
- ⑨その他、本大学院において、個別の入学資格審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達した者（出願に先立ち、個別の資格審査が必要となります。ホームページから申請書をダウンロードして申請してください）

社会人選抜の出願資格

社会人選抜に出願することができる者は、前記の一般選抜の①～⑨のいずれかに該当し、通算2年以上（出願時までの見込みを含む）の看護職としての実務経験を有する者とする。なお、『助産実践科学分野』は女子のみ出願を可能とする。

〔重要〕研究領域に関する事前相談

出願に先立ち、志望する専攻分野の指導教員と面談し、入学後の研究・教育内容等について事前に相談することが必要です。事前相談の方法については、巻末の別表「指導教員の専門領域と連絡先」を参照のうえお申し込みください。

3 入試関係日程

	出願期間	選考日	合格発表
第1期	2023年7月10日(月)～ 2023年7月21日(金) (必着)	2023年9月2日(土)	2023年9月11日(月) (投函)
第2期	2023年12月4日(月)～ 2023年12月15日(金) (必着)	2024年1月27日(土)	2024年2月5日(月) (投函)

※試験時間などの詳細は受験票返却時にお知らせいたします。

※各分野において入学定員に達した場合、募集を終了し、予定している入学試験を実施しない場合があります。

4 出願手続き

志願者は、下記の書類をとりまとめて本学所定の封筒に入れ、郵送または持参してください。

(1) 出願書類及び検定料

書类等	提出該当者	摘要
① 入学願書	全 員	所定の用紙によること。
② 受験票、写真票	全 員	ア 所定の用紙によること。 イ それぞれに、所定の事項を記入し、受験票の裏面に、323 円切手を貼付のうえ返信先の住所・氏名を明記すること。写真票には、裏面に氏名を書いた写真（上半身、脱帽、正面向きのもので、出願前 3 か月以内に撮影した縦 4cm × 横 3cm のもの）を貼り付けること。
③ 卒業（見込み）証明書	全 員	ア 大学を卒業した者又は卒業見込みの者 出身大学の学長又は学部長が作成した「卒業（見込み）証明書」を提出すること。 イ 上記以外の者 最終学校の卒業証明書又は学位授与証明書等出願資格に関わる証明書を提出すること。
④ 成績証明書	全 員	出身大学の学長又は学部長が作成し、厳封したもの。
⑤ 志望書	全 員	所定の用紙によること。
⑥ あて名シール	全 員	所定の用紙によること。
⑦ 免許証の写し	全 員 (見込者除く)	看護師免許証の写しを提出すること。
⑧ 長期履修申請書等	看護実践科学分野の 志願者で、 長期履修制度を申請 する者	ア 長期履修申請書 (所定様式は本学ホームページより入手してください。) イ 申請資格を証明する文書 ・ 職業を有する者については、在籍証明書 または、それに代わるもの ・ 育児、介護等を行う者については、当該 事由を証明する文書「診断書」など
⑨ 検定料 30,000 円 (右記の口座へ振り込みをお願いします)	全 員	<振込先> 三井住友銀行西宮支店 普通預金 8129591 学校法人 大手前学園 ガク オオテマエガクエン ※出願者ご本人名義でお願いします。 ※振込手数料はご依頼者負担となります。

※身体に障害のある者（視力・聴力・肢体不自由）で、受験に際して特別の配慮を必要とする場合は事前にご相談のうえ、出願時に「受験特別措置願」（様式自由）を提出してください。また、出願後の不慮の事故等により負傷者が受験時の特別措置を希望する場合は早めに教務課大学院入試係（06-6941-7063）まで申し出てください。

※前ページの出願資格⑨により出願する者で、個別の入学資格審査申請時に上記③、④、⑦を提出した者は、再提出の必要はありません。

※提出書類の証明書と現在の氏名が相違している場合は、戸籍抄本等の改姓を証明する書類を提出してください。

※いったん提出された出願書類は、いかなる理由があっても返還いたしません。

(2) 出願方法

①郵送の場合は、出願期間内に簡易書留速達にて下記宛に郵送してください。（必着）

②持参の場合は、出願期間内の平日（月曜日～金曜日）午前 9 時から午後 5 時までに、下記宛に提出してください。（年末年始前後の持参可能日は別途ご確認ください。）

(3) 出願書類提出先

〒540-0008 大阪市中央区大手前 2-1-88

大手前大学大学院 国際看護学研究科 大阪大手前キャンパス 教務課 ☎06-6941-7063

5 選抜方法

選抜方法は、一般選抜、社会人選抜ともに以下の内容で行う。口頭試問は、「志望書」を用いて行う。なお、社会人選抜の口頭試問は臨床経験をもとにした研究課題を中心に行う。

一般選抜・ 社会人選抜	科目	英語	小論文	口頭試問
	時間	80 分	80 分	20 分
	備考	英語辞書 1 冊持込可、 ただし電子辞書機器類 は持込不可	看護共通問題と専攻に 関する出題テーマのう ちから 1 つを選択 (各 400 字程度)	個人面接※

※出願時に提出した、入学後の研究について 1,600 字程度の「志望書」にもとづき質疑応答を行う。

6 試験場

大手前大学 大阪大手前キャンパス 大阪府大阪市中央区大手前 2-1-88

(大阪メトロ谷町線天満橋駅、京阪天満橋駅から徒歩約 2 ～ 5 分)

7 合格発表

合否結果は合格発表当日、受験生本人宛に通知書を速達郵送します。

第 1 期〔2023 年 9 月 11 日 (月) 投函 (到着日ではありません)〕

第 2 期〔2024 年 2 月 5 日 (月) 投函 (到着日ではありません)〕

※学内掲示、Web 発表は行いません。また、合否に関する電話等による問い合わせにはお応えできません。

8 入学手続き

合格通知書を受領した者は、所定の金額を下記納入期日までに納入してください。

	入学金納入期日	授業料納入期日
第 1 期	2023 年 9 月 27 日 (水)	2023 年 10 月 4 日 (水)
第 2 期	2024 年 2 月 21 日 (水)	2024 年 2 月 28 日 (水)

9 納入金

① 看護実践科学分野

	入学時納入金	秋学期納入金
入 学 金	200,000 円	—
授 業 料	350,000 円	350,000 円
施設設備費	25,000 円	25,000 円
実 習 費	—	—
合 計	575,000 円	375,000 円

② 公衆衛生看護実践科学分野

	入学時納入金	秋学期納入金
入 学 金	200,000 円	—
授 業 料	350,000 円	350,000 円
施設設備費	25,000 円	25,000 円
実 習 費	75,000 円	75,000 円
合 計	650,000 円	450,000 円

③ 助産実践科学分野

	入学時納入金	秋学期納入金
入 学 金	200,000 円	—
授 業 料	350,000 円	350,000 円
施設設備費	25,000 円	25,000 円
実 習 費	150,000 円	150,000 円
合 計	725,000 円	525,000 円

※大手前大学または大手前女子大学を卒業し、大学院に入学する者の入学金は半額とします。

※一旦納入した入学手続時の諸納付金（入学金・授業料）は返還いたしません。

ただし、2024年3月22日（金）〔必着〕までに文書で入学辞退を教務課に申し出て、所定の手続きをとった場合に限り、入学金を除く授業料は返還いたします。

※最終年度に授業料などと共に同窓会費（終身）として別途 10,000 円徴収いたします。大手前大学または大手前女子大学卒業生は徴収いたしません。

※上記の他、初年度について看護学生用総合補償保険、感染対策費用、学生証用ストラップ、ロッカー鍵等として約 7 万円が必要となります。（項目、金額等については変更となる場合があります） 学外実習に伴う交通費等は自己負担となります。

※入学に際し、ノート型パソコンの準備をお願いします。準備していただく内容については入学までに別途ご案内いたします。準備に要する費用は 17 万円程度となります（本学指定の仕様・性能基準を満たす機種を既に所有されている場合は購入の必要はありません）。

※その他、教科書、参考図書等の費用が必要となります。

※助産実践科学分野は、実習施設の状況によって別途費用が必要となる場合があります。

10 長期履修制度

看護実践科学分野を志望する者で、職業を有している等の事情により、標準修業年限を越えて一定期間にわたり、計画的に教育課程を履修し修了することを希望する場合に、長期履修制度を認めます。

但し、併願により、看護実践科学分野以外での合格となった場合は、長期履修制度は適用されません。

(1) 申請資格

有職者（正規・非正規に限らず、その収入で生計を立てている者）、出産、育児や介護、その他のやむを得ない事情を有する者。

(2) 申請時期

原則、出願時に申請してください。

(3) 長期履修期間

・標準修業年限・・・2 年

・長期履修期間・・・3 年

なお、休学の期間はこの期間に含みません。

(4) 授業料

①長期履修学生の学納金の年額については、学納金に標準修業年限の年数を乗じた額を、長期履修期間の年数で除した額になります。また、各々の額に 1,000 円未満の端数が発生する場合は、1,000 円単位で切り下げ、この学費を適用する最初の年次で調整します。

②認められた履修期間を超えて在籍する場合の学費は、標準修業年限における最終年次の学費を適用します。

11 個人情報〈個人情報の取り扱いについて〉

(1) 利用目的

出願および入学手続きにあたってご記入いただいた個人情報は、入学試験実施、合格通知、入学手続きとこれらに付随する業務で利用されます。

(2) 取り扱い方針

①ご記入いただいた個人情報は厳重に取り扱われます。また、上記「利用目的」以外には一切利用されません。

②ご記入いただいた個人情報の取り扱いを外部に委託する場合があります。その場合、個人情報を適切に取り扱っていると認められる委託先を選定し、適正な管理を実施させます。

別表 指導教員の専門領域と連絡先

出願に先立ち、志望する専攻分野の指導教員と面談し、入学後の研究・教育内容等について事前に相談することが必要です。下記に示す教員が特別研究科目(看護研究演習, 看護特別研究)を担当する指導教員です。教員のメールアドレスに連絡して、入学後の研究・教育(履修内容等)について事前に相談してください。

■看護実践科学分野

指導教員	講義等の内容
鈴井江三子 (研究科長・教授) esuzui@otemae.ac.jp	国内外の看護職を対象とした看護技術・ケアの向上及び看護教育プログラムの開発についての研究指導を行う。また、女性や子どもへの暴力防止教育プログラムの開発についての研究指導も行う。
大橋一友 (教授) ohashi@otemae.ac.jp	国内外のグローバル社会での保健医療支援における適正技術の開発や人材育成のプログラム開発についての研究指導を行う。
河井伸子 (教授) nkawai@otemae.ac.jp	様々な背景を持つ高齢者や慢性疾患患者の生活調整に関する研究や質的研究やアクションリサーチを用いた研究(急性期病院における高齢者看護、高齢者の終末期ケア、生活習慣病患者へのケア)についての研究指導を行う。
清水純 (教授) j-shimi@otemae.ac.jp	精神科救急急性期看護の研究や言語の数理解析を通じて、人の精神状態を評価するための研究指導を行う。
富松拓治 (教授) tomimatsu@otemae.ac.jp	周産期学の可能性と限界や新しいプレコンセプション教育に関する問題点についての研究指導を行う。
西村直子 (教授) nawokon@otemae.ac.jp	医療施設や地域など多様な場で生活する小児とその家族が、健康障害の有無にかかわらず「その人らしさ」を維持できる支援についての研究指導を行う。
藤井ひろみ (教授) fujiihir@otemae.ac.jp	多様な人間の性(セクシュアリティ)の在り様とケアを、量的・質的に追究する研究(助産学研究、性機能障害への看護、看護とジェンダー研究)についての研究指導を行う。
山本純子 (教授) j-yama@otemae.ac.jp	在宅看護における多様な人々とその家族に対し、End of life care の意思決定支援に関する効果的な介入方法と地域ケアシステムにおける在宅療養者を支える継続的かつ実践的看護ケアの構築についての研究指導を行う。
村上寛 (准教授) murray0909@otemae.ac.jp	看護実践を支える技術が対象者の自立、安全、安楽の維持・向上を高め効率的であるための看護基礎教育における技術教育の評価と開発について、また、看護活動を支える工学的機器・技術の活用や開発についての研究指導を行う。

■公衆衛生看護実践科学分野

指導教員	講義等の内容
白井文恵 (保健師学校教務主任・教授) shirai@otemae.ac.jp	国内外の健康危機(感染症、虐待、DV、自殺、災害等)に対する保健活動のエビデンス構築についての研究指導を行う。
矢野朋子 (講師) t-yano@otemae.ac.jp	地域で暮らす高齢者の介護予防に関する研究、地域の高齢者に対する ACP (アドバンス・ケア・プランニング) についての研究と、要介護高齢者に対する看護職における栄養ケアについての研究指導を行う。

■助産実践科学分野

指導教員	講義等の内容
嶋澤恭子 (助産師学校教務主任・教授) shimazawa@otemae.ac.jp	日本を含むアジアのリプロダクティブヘルス・ライツ、助産師の自律性や助産実践、異文化間看護についての研究指導を行う。
望月明見 (准教授) a-mochi@otemae.ac.jp	ジェンダーやリプロダクティブヘルス・ライツに視点をおき、女性本人だけでなく、家族や環境を包括的に捉えたウイメンズヘルスの向上や、社会的ハイリスクな状態にある女性に対する健康支援についての研究指導を行う。

2024 年度

大手前大学大学院 国際看護学研究科 入学願書

該当欄に○印を記入してください。

入 試 期 日	第 1 期	入 試 種 別	一 般 入 試	選 択 分 野 注(1)	看護実践科学	受 験 番 号 * 記入不要
	第 2 期		社 会 人 入 試		公衆衛生看護実践科学	
					助産実践科学 注(2)	

注(1) 希望する選択分野に○印を記入すること。もし、選択分野の併願を希望する場合は、第2希望の分野に②と記入すること。ただし、公衆衛生看護実践科学と助産実践科学を併願することは不可。
注(2) 助産実践科学は女子のみ選択可。

フリガナ			(写真貼付) 出願前3ヶ月以内に 撮影した正面上半身 無帽のもの。裏面に 氏名を記入してくだ さい。 (4×3cm)
氏 名	姓	名	
生年月日 (西暦)	年 月 日 生 (満 歳)		
フリガナ			
現住所 (この住所宛に書類を送付しますので丁寧に記入してください)	〒 TEL () -		
メールアドレス			
フリガナ			
連絡先住所 (現住所以外へ書類送付を希望する場合のみ記入)	〒 TEL () -		
学 歴	年 月入学		
	年 月卒業		
	年 月入学		
	年 月卒業・卒見		
	年 月		
主 な 職 歴	年 月		
	年 月		
	年 月		
	年 月		
	年 月		
	年 月から		
	年 月まで		
	年 月から		
	年 月まで		
	年 月から		
年 月まで			

※ 記入形式は問わない。ただし、手書きの場合は黒色ボールペンまたは黒色インクを使用。消せるボールペンは使用不可。

(修士課程)

2024 年度

大手前大学大学院 国際看護学研究科 志望書

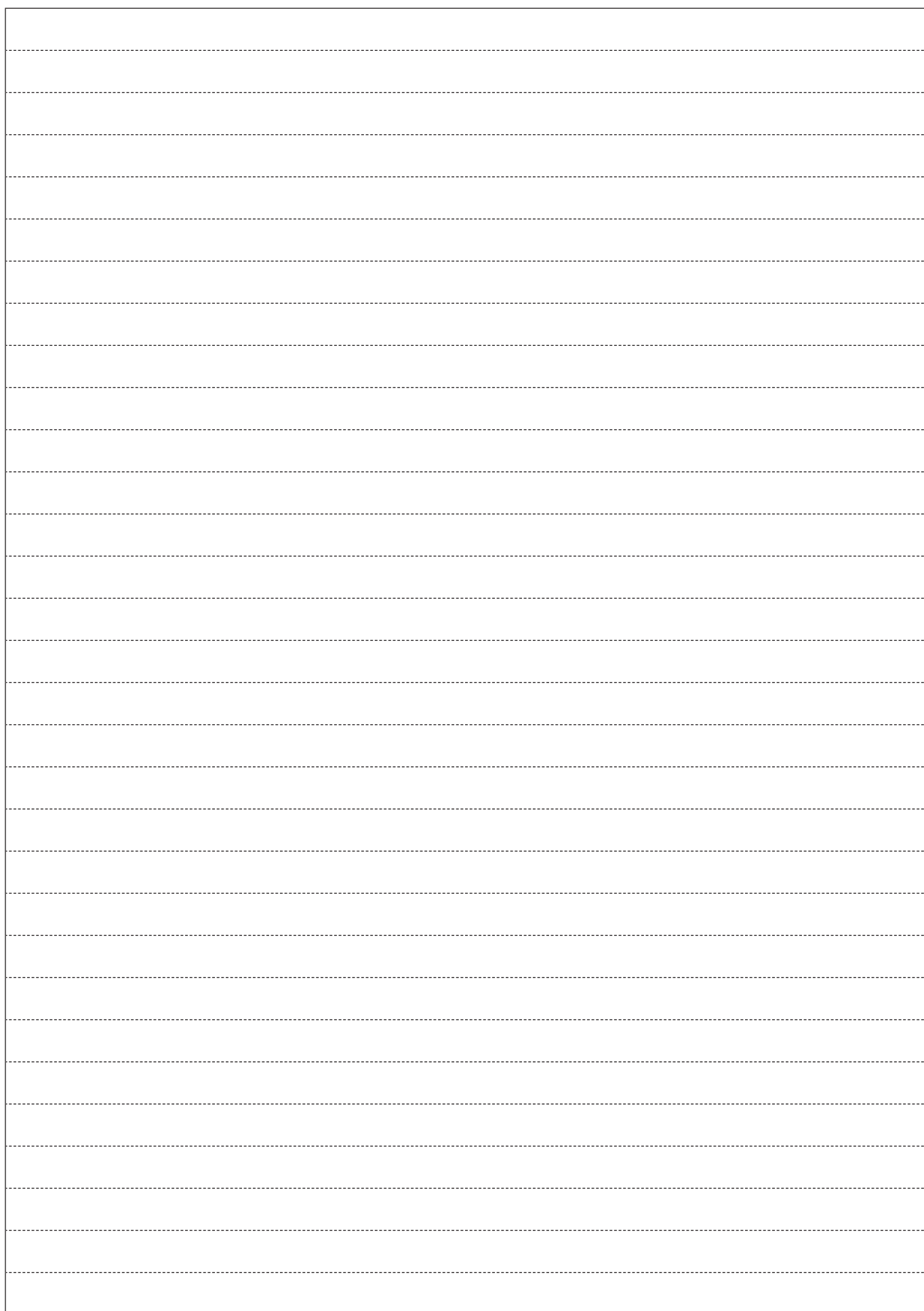
フリガナ	
氏 名	
面談した 教 員 名	(面談日 年 月 日)

受 験 番 号 *記入不要
 *

入学後の研究について（1600字程度）（裏面も記入してください）

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There is no handwriting or other markings on the paper.

※記入形式は問わない。パソコン等で作成しコピー用紙等に印刷したものを貼付しても可（『入学後の研究について』の表面裏面の枠内に収まるよう配置し、はがれないよう糊付けすること）。
なお、手書きの場合は黒色ボールペンまたは黒色インクを使用すること。消せるボールペンは使用不可。



写真票

受験番号	
フリガナ	
氏名	
受験項目(○をつける)	
入試種別	一般入試 社会人入試

(切り離さないでください)

受験票

修士課程

2024年度 大手前大学大学院
国際看護学研究科

受験番号	※		
氏名(フリガナ)			
氏名(漢字)			
生年月日 (西暦)	年	月	日
入試種別	一般入試/社会人入試		
試験日			
第1期	2023年9月2日(土)		
第2期	2024年1月27日(土)		

注意事項

- 受験票は必ず携帯し、試験会場では机の上に置いてください。
- ※印欄を除いて全て記入してください。
- 試験日の左の欄に「○」を入れてください。
- 裏面も記入してください。
- 集合時間は受験票受取時に裏面を確認してください。

受付印

速達

郵便はがき

			-				
----------------------	----------------------	----------------------	---	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------

323円分の
切手を貼付
してください。

(住所)

.....

.....

(氏名)

様

通信欄 (受験生は記入しないでください。)

(大阪大手前キャンパス) (〒)



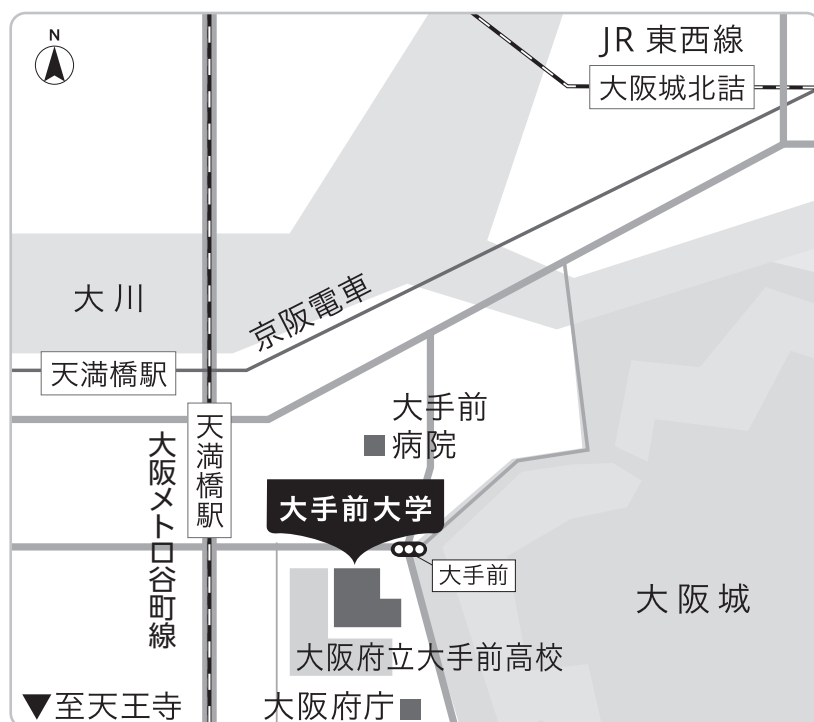
大手前大学

大学院 国際看護学研究科 教務課

〒540-0008 大阪市中央区大手前2-1-88 TEL (06) 6941-7063

交通アクセス

大手前大学（大阪大手前キャンパス）



3路線3駅から
アクセス可能

大阪メトロ谷町線 天満橋駅

京阪 天満橋駅

JR東西線 大阪城北詰駅 徒歩約13分

徒歩約2~5分

主要駅から
最寄り駅までの
所要時間

・大阪(東梅田)から 約4分 ・天王寺から 約11分
 ・京橋から 約5分 ・大阪上本町から 約12分
 ・なんばから 約10分

※時間帯や乗り継ぎ等により異なる場合があります。

〒540-0008 大阪市中央区大手前 2-1-88

TEL/06-6941-7063(教務課)

速 達

5 4 0 - 0 0 0 8

大阪市中央区大手前二―一―八八

大手前大学大学院 国際看護学研究科

大阪大手前キャンパス 教務課 行

簡易書留

速 達

（入学願書在中）

住所	〒	TEL	（ ）
氏名		受付番	※

※記入不要。

この封筒の中に次の書類が
入っているか確認してください

- 【修士課程】
詳細は『学生募集要項』P2を参照してください。
- ☐ 入学願書
【① 入学願書 ② 受験票、写真票】
 - ☐ ③ 卒業（見込み）証明書
 - ☐ ④ 成績証明書
 - ☐ ⑤ 志望書
 - ☐ ⑥ あて名シール（1 セット2 シール）
 - ☐ ⑦ 看護師免許証の写し（見込者除く）
 - ☐ ⑧ 長期履修申請書等
（看護実践科学分野の志願者で長期履修制度を申請する場合）

あて名シール

〈記入上の注意〉

- 1 ※印欄は、記入しないでください。
- 2 住所欄には、合否通知書送付先の住所を記入してください。

--	--	--	--	--	--	--

住 所

様

※

--	--	--	--	--	--	--

住 所

様

※